

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	田口 隼人	学校名	神戸市立太山寺中学校
実施学年	第1学年	教科	外国語(英語)
单元名	Project1 理想のロボットを発表しよう		

《学びを深めたいポイント》

この単元は、「理想のロボットコンテスト」に参加するために、自分の考えたロボットができることやロボットの特徴について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いて、発表するという内容である。これまでに習った文法項目である be 動詞、一般動詞、助動詞 can を活用する内容である。

そこで授業では、①簡単な語句や文を用いて、まとまりのある英文を書くことができる。②自分の考えたアイデアを英語で表現し、自信をもって発表できる。という点を重点的に生徒の学びを深めたい。

《SKYMENU 活用のポイント》

本実践では以下の3点で SKYMENU を活用する予定である。

① 導入部分での画面提示機能

教師がさまざまなロボットの写真や動画を提示し、生徒にアイデアを持たせる。これにより、生徒が自分の考えたロボットを具体的にイメージしやすくなるよう工夫する。また、既習の英単語や助動詞 can の復習を画面提示機能で行い、生徒がいつでも英単語を見られるように発表ノートを配布するなどの支援を行う。

② シンプルプレゼンのスライド作成と発表

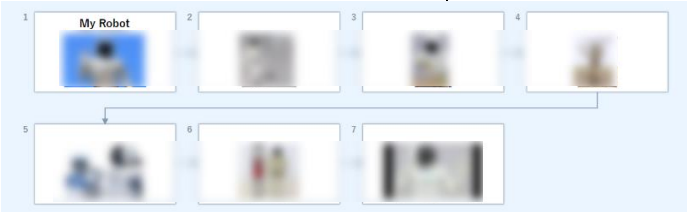
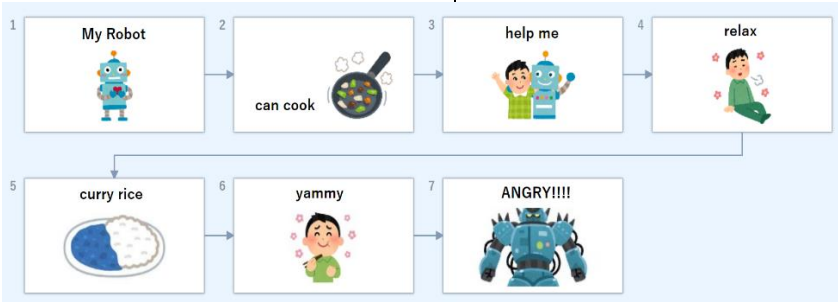
シンプルプレゼンを使用して、生徒がロボットの特徴やデザインを説明するスライドを作成する。スライド作成においては、必要最低限の情報のみ掲載することを伝える。また、生徒が発表する際には、タブレットを大型提示装置につないで電子黒板に画面を表示させ、視覚的に伝えることでプレゼンテーションの質を向上させたい。

③ 振り返りシートの記入

授業の振り返りシートを記入し、生徒が学んだこと、発表でうまくいった点や改善点を考えることで、自己評価を行い、学習効果を高めたい。

今回は主に、シンプルプレゼンの活用法について考えてみたい。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	1. 本時のめあて 教師から提示される様々なロボットの写真や動画を見て、それぞれがどのような機能を持っているかをクラスで共有する。 2. 前時の復習 既習の英単語を、特に助動詞 can のあとにくる動詞を中心に復習する。	・画面提示機能で教師のプレゼンを見本として提示する。  ・画面提示で英単語を映して音読練習し、生徒がいつでも英単語を見られるように発表ノートを配布する。	・生徒がプレゼンを作るイメージを持たせる。 助動詞 can のあとにくる動詞 do make practice walk speak cook help play open jump run
展開	3. アイデアを考える。 自分が考えたロボットの特徴や機能について具体的にリストアップして、英語にする。 4. スライドを作成する。 シンプルプレゼン活用して、自分のロボットの特徴を説明するスライドを作成する。スライドには、ロボットのデザイン画像や機能を説明する画像も含める。 5. 発表する。 グループやクラスの前で自分のロボットについて英語で発表する。発表はスライドを見せながら、ロボットの特徴を、相手に伝える。	・シンプルプレゼンを活用して、ロボットの特徴やデザインを説明するスライドを作成する。(生徒作品)  ・シンプルプレゼンのスライドをクラス全体の前で表示しながら、ロボットの特徴を英語で発表する。	・文字は発表原稿を入力するのではなく、重要なポイントのみを入力することを伝える。 ・生徒のタブレットを大型提示装置につないで、電子黒板に画面を表示させる。
まとめ	6. 本時の振り返り 授業の振り返りシートを記入し、自分が学んだこと、発表でうまくいった点や改善点について考える。	・発表ノートで振り返りを行う。	振り返りシート うまくいった点 _____ 改善できる点 _____ 学んだこと _____

《実践を振り返って》

SKYMENUの「シンプルプレゼン」を活用したことで得られた教育効果は、大きく以下の3である。

①シンプルな操作で発表内容に集中

スライド作成において、必要最低限の機能のみ搭載されていることで、生徒が発表内容の作成に集中できた。PowerPoint は、アニメーションや画面の切り替えなど機能が多く、生徒が発表内容以外の部分にこだわってしまっていて作業に時間がかかってしまうという点と比べて、SKYMENU は使いやすかった。

②情報量のレベル設定で情報の取捨選択

レベルが高いほど情報量が少なくなるため、生徒は自分の発表内容の中で最も大切な情報を考えるようになった。また、発表する際も、初めは発表原稿すべてスライドに入力しようとしていたが、シンプルプレゼンを使うようになって、キーワードだけを見て発表できるようになった。

③視覚情報でプレゼンテーションの質の向上

文字や画像をスライドに載せて視覚的にも伝えることで、英語を聞くだけのスピーチよりも理解しやすく、内容が記憶に残りやすかった。画像や図は生徒の興味を引きつけ、難しい英単語を理解しやすくなるなど、スローラーナーに対しても興味を持続させる効果も見られた。

シンプルプレゼンを活用することで、これらの効果を感じられたため、今後も継続して SKYMRNU を活用し続けたいと思う。